

日本劇作家協会 2023年度(令和5年度) 事業報告

1. 会員(2024年3月31日)

正会員:554名	入会:27名	復帰:1名
	退会:24名	除籍:41名
	逝去:5名	

賛助会員	団体:11団体
	個人:9名

2. 会合

①理事会	2回:4月19日、3月1日
②評議員総会	2回:5月25日(定時)、2月28日(特別)
③会員総会	1回:5月30日
④運営委員会	1回:4月25日

3. 育成、コンクール、セミナー

- ①第29回劇作家協会新人戯曲賞
後援:公益財団法人一ツ橋総合財団)
助成:SARTRAS(一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会)
6月～応募作受付と一次審査二次審査
11月8日に最終審査会(オンラインで非公開開催)、11月9日に受賞作と佳作を発表
12月24日に授賞式(オンライン開催)
- ②戯曲セミナー
・対面コース+オンラインコース 10月～3月(於 座・高円寺+オンライン)
・2. 5次元脚本コース 12月～3月(於 座・高円寺)
- ③出張戯曲講座(独立行政法人日本芸術文化振興会(以下 芸文振)助成事業)
「戯曲を書いてみよう!」
・9月 シアターねこ(愛媛県松山市)
・10月 上土劇場・信濃ギャラリー(長野県松本市)
- ④公開講座(芸文振助成事業)
8月19日20日(於 座・高円寺)
・「シンポジウム「SNS・配信時代における戯曲と演劇」
・演劇の現場でのハラスメントを考えるフォーラムシアター
- ⑤長編戯曲の改稿講座(芸文振助成事業)
10月、11月、12月にオンラインで講座を開催
2月に受講生提出作品のドラマリーディングを収録・配信 (収録会場は人間座スタジオ(京都市))
- ⑥短編戯曲コンクール(芸文振助成事業)
「劇王2024」2月3日4日(於 長久手市文化の家)

4. 普及、ワークショップ、シンポジウム

- ①定期的なドラマリーディングのワークショップ
1)東京「改稿サポートする輪。」:7月、9月、10月、1月、2月
・7月、10月、2月は座・高円寺で開催
・9月、1月はオンラインで開催
2)大阪「月いちリーディング」:6月、10月、1月(於 common café、ACT cafe)
3)九州「月いちリーディング」:9月(於 ハコビル(福岡市))、2月(於 iichiko 総合文化センター(大分市))
4)東北「月いちリーディング」:11月(於 盛岡劇場ミニホール(盛岡市))
- ②関西版月いちリーディングスペシャル企画「劇作バトル!」1月27日(於 ドーンセンター(大阪市))
- ③「リーディングフェスタ2023」
12月16日17日に実施(於 座・高円寺 ※無観客開催して収録・配信)
・沈黙を読む～太田省吾『小町風伝』リーディング～
・トークセッション「教えて、太田省吾さん」
※以上、いずれも芸文振助成事業

5. 出版・広報

- ①第29回劇作家協会新人戯曲賞最終候補作掲載「優秀新人戯曲集2024」、1月に刊行
- ②戯曲オンデマンド出版・電子書籍「二十一世紀戯曲文庫」18タイトル、販売継続
- ③戯曲英訳出版(芸文振助成事業):3月に「ENGKEI:Japanese Theatre in the New Millennium 9」刊行
- ④会報(『ト書き』)の発行 1回:70号(3月)
- ⑤公式noteに「劇作家協会FAQ」「子育て中! 劇作家座談会」を公開
- ⑥会員メールマガジン、SNS、Web サイト更新などの継続

6. 調査、資料収集、アーカイブ

- ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)の蔵書(主に戯曲)収集に協力
- ②戯曲デジタルアーカイブの公開継続、上演問合せなどへの対応
- ③「EPAD2023 戯曲アーカイブ事業」(EPAD委託事業)
・収蔵戯曲355作品追加
・上演許諾システム実装

7. 協力、パートナーシップ、後援

- ①一般財団法人光文文化財団主催の第27回鶴屋南北戯曲賞に協力
- ②座・高円寺の「2023年度日本劇作家協会プログラム」12企画が上演(5月～3月)
- ③座・高円寺の「2025年度日本劇作家協会プログラム」の募集と推薦
- ④座・高円寺劇場創造アカデミーに名義協力
- ⑤一般社団法人日本舞台美術家協会の「第2回伊藤熹朔記念賞選考展」に名義後援
- ⑥白河文化交流館コミネス指定管理者 特定非営利活動法人カルチャーネットワークの「第9回ハイスクール劇王 高校生短編演劇競技大会」に名義後援
- ⑦公益社団法人国際演劇協会日本センターの「紛争地域から生まれた演劇15」に名義協力
- ⑧公益社団法人国際演劇協会日本センターの「次代の翻訳者養成セミナー」に名義協力
- ⑨吉里吉里忌実行委員会の「吉里吉里忌 2024」に名義後援
- ⑩「築地小劇場開場100年」実行委員会の「築地小劇場開場100年シンポジウム」に名義協力
- ⑪緊急事態舞台芸術ネットワークへの賛同継続

8. 国際交流

- ①日韓演劇交流センター、英訳・仏訳戯曲集贈呈などの継続活動と海外からの問い合わせなどに対応

9. 著作権、契約

- ①戯曲の著作権や上演許諾などに関する問い合わせや個別事案への対応を継続

10. 高校演劇

- ①戯曲デジタルアーカイブへ高校演劇20作品掲載協力
- ②『コロナ禍3年 高校演劇』工藤千夏編著への戯曲掲載協力、取材協力

11. 支部、地域交流事業

- ①北海道支部;
 - 1) 希望の大地の戯曲「北海道戯曲賞」に協力
 - 2) 若手劇作家 戯曲講座 成果発表公演の開催
- ②東北支部;
 - 1) 上記4. で記載の盛岡市での「月いちリーディング」を運営
- ③東海支部;
 - 1) 第8回俳優A賞を主催
 - 2) 上記3. で記載の長久手市での「劇王2024」を運営
 - 3) 「ナビチリーディング」を共同主催
 - 4) 戯曲同人誌「劇薬実」を創刊
- ④関西支部;
 - 上記3. と4. で記載の「月いちリーディング」「劇作バトル!」「長編戯曲の改稿講座」を運営
- ⑤中国支部;
 - 1) 第9回中国ブロック劇王決定戦を主催
 - 2) 「戯曲」を読み解くワークショップに協力
- ⑥九州支部;
 - 1) 上記4. で記載の福岡市と大分市での「月いちリーディング」を運営
 - 2) 河野ミチユキ追悼セッション「河野ミチユキを読む」を開催
- ⑦沖縄支部;
※特記事項なし

12. ハラスメント対応

- ①「ハラスメント防止ガイドライン」「ハラスメント事案の対応要綱」を公開
- ②TA-net と ON-PAM 有志との協働事業を実施
・啓発ポスター製作、ハラスメント防止講習など
- ③個別事案に対する対応を継続

13. その他

- ①令和6年度文化庁新進芸術家海外研修制度の応募受付 → 応募者なし

14. 特記

定款に則り、評議員選挙と理事改選を実施

- ①2月5日に評議員選挙の開票が行われ、まず選挙評議員10名が選出され、続いて推薦評議員4名が選任され、評議員14名は下記の通り決定した。

赤澤ムック、長田育恵、鹿目由紀、黒澤世莉、桑原裕子、坂本鈴、瀬戸山美咲、高羽彩、
佃典彦、土田英生、平田オリザ、古川健、マキノノゾミ、渡辺えり

- ②2月28日の特別評議員総会と3月1日の理事会で、会長(代表理事)、副会長、理事、監事候補者を選任した。

会長(代表理事):瀬戸山美咲

副会長:長田育恵、土田英生

理事:鹿目由紀、桑原裕子、高羽彩、古川健

監事候補者:鐘下辰男、永井愛(監事の正式選任は5月の定時評議員総会において)

以上